

1. 単元名(活動名)： つながる心～大切なものはすぐそばに					
2. 対 象：音更町立下音更中学校 2年生 授業者：谷 崎 城	3. 学習領域				
		1	2	3	4
4. 教科との関連性：道徳	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人 権	環 境	平 和	開 発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
5. 実施時期：2012年2月27日～3月2日		6. 時数：3時間			
7. 単元の目標（評価の観点を意識して設定） 【関心・意欲】 ○スリランカの人々の暮らしに関心をもつことができる。 【技能】 ○フォトランゲージなどで自分の考えを述べるができる。 【知識・理解】 ○スリランカと日本の同じところや違うところに気づき、他とのつながりを理解する。			8. キーワード： ・同じと違い ・思いやり ・感謝 ・つながり		
9. 単元について（教材観、単元設定の理由、開発教育／国際理解教育の視点等） <p>学級・学年の実態として、自己中心的な考えの生徒が目立っている。その一方で、我慢を強いられている生徒がいるが、「だめなことはだめ」と言えない雰囲気全体に漂っている。狭い仲間意識もはびこり、親しい友人以外に対して無関心なところが見受けられる。言い換えれば、特定の仲間集団の中に安心感を見い出そうとする一方、広く他者と意思疎通を図ることは消極的であるということである。また、やってもらってあたりまえという意識が強く、物事に感謝する気持ちが薄い。</p> <p>今回のスリランカ滞在中に感じたことは、スリランカの人々は『思いやり・感謝』の念を強くもっているということ。具体的には、①「何でも分け合う習慣がある。」②「おもてなしの文化が根付いている。」③「失敗に対して寛容である。」④「動物を大切に作る。」…といったところから思いやりの心の深さを感じた。また、自分の誕生日には、ケーキを学校や職場に持っていき皆に配ったり、母親にプレゼントする子がいるという話は、自分が生まれてきて大きくなったことに対する感謝の気持ちの表れであると思う。どの生徒にインタビューしても、自分を育ててくれた両親をとっても大切に思っていると答えたことも印象的であった。</p> <p>今の日本の子どもたちは、決して『思いやり・感謝』がないというわけではない。ただ、人間関係の希薄化や、他人を気遣う時間的・精神的余裕のなさ、‘あたりまえ’に浸りきった生活、さらには素直にそういった感情を表すことの気恥ずかしさ…などといったものがあるのだと思う。</p> <p>そこで、スリランカの人々の『思いやり・感謝』に関するエピソードを交えながら、スリランカの生徒の考えを自分たちの考えと比較し、自分を見つめ直すきっかけになればと考えた。比較の一つとして、今回、日本の生徒とスリランカの生徒に、“大切なもの”というテーマで絵を描いてもらった。極端な違いがあるとは言えないが、スリランカの生徒の絵は少なくとも、家族愛の深さ・今あるものへの感謝の気持ちが表れている絵が多かった。物質的豊かさより精神的豊かさにスポットを当て、“人とのつながり”の重要性を再認識させていきたいと考え、本単元を設定した。</p> <p>また、2次的目標としては、自分たちとは異なる価値観や文化に触れさせることで、物事を様々な角度から見ることの大切さに気づかせたい。気づかせることで、学級内でたとえ意見が違ったり性格が合わなくても、互いに理解し合い尊重し合う姿勢を養いたいと思う。現状では、相手のことを理解せずに排除しようとしたり、避けようとしたりする傾向が見られるからである。</p> <p>他者との関わり方や自分をどう表現するかについて悩んでいる生徒が多いので、他者との関係を築くため、コミュニケーションの能力を高める活動及び学び合いや対話を大切にしながら進める学習にしていきたい。</p>					

10. 展開計画（3時間扱い）		
展開順	主な学習活動と学習者（児童生徒）の意識	留意点など
1時間目	<p>【スリランカを知る】</p> <p>シンハラ語であいさつをしてみよう 隣の人どうしであいさつしあう。 ・スリランカでは、こういうあいさつなんだ ・なんか楽しいな</p> <p>スリランカに対してもっているイメージを出し合おう 個人で思ったことを発言する。 ・暑そう ・貧しそう ・紅茶 ・島国</p> <p>スリランカのことを知ろう パワーポイントを見る。 ・北海道より小さいんだ ・首都の名前が長いね</p> <p>スリランカ〇×クイズに挑戦しよう！ 個人ごとに、ワークシートに答えを記入する。</p> <p>Q1 スリランカ人は、カレーを手で食べている。 Q2 スリランカの紙幣には、バンザイをした大統領が描かれているものがある。 Q3 スリランカの赤ちゃんを「かわいい」と褒めてはいけない。 Q4 スリランカではトイレで紙を使わない。 Q5 スリランカで最も人気のあるスポーツは野球である。 Q6 戦後、世界で一番早く正式に日本と外交関係を結んだ国はスリランカである。 Q7 スリランカでは木造の家が多い。 Q8 スリランカでは、小学校から大学まですべての教育が無料である。 Q9 スリランカには、スパイス入りの歯磨き粉がある。 Q10 スリランカの親は子の子のことを宝石と呼ぶ。</p> <p>スリランカのモノに触れてみよう</p> <p>グループ毎に、お金、歯磨き粉、新聞、宝くじ、数学の問題集、お玉 etc…に触れる。 ・いろいろなお札があるね ・この歯磨き粉、スパイスの匂いがする ・この宝くじ、当たったらいくらもらえるの？ ・数学の問題って、日本と似ているね</p> <p>日本とスリランカ、どちらの国の写真だろう</p> <p>グループで相談しながら、なぜそう思ったのかという理由もあわせて、答えをワークシートに記入する。 ・①は見たことあるぞ ・⑦は象が写っているけど雪もあるな ・⑧はドラえもんだけど、変な文字があるぞ</p>	<p>・教師が「アーユボーワン」とシンハラ語であいさつした後、生徒にも言わせてみる。近くの人ともあいさつさせる。</p> <p>・知っていることでも、思い込みでもいいので、多くの発言が出るように促したい。</p> <p>・スリランカの基本情報（位置・面積・人口・宗教・民族・言葉）を、パワーポイントに映し出す。</p> <p>・パワーポイントに問題を映し出す。答えあわせとともに補足説明をしていく。</p> <p>Q1 正解は○ Q2 正解は○ Q3 正解は○ Q4 正解は○ Q5 正解は× Q6 正解は○ Q7 正解は× Q8 正解は○ Q9 正解は○ Q10 正解は○</p> <p>・このグループは生活班とする。</p> <p>・日本とスリランカの写真を混ぜたものを各班に配る。最後に、答え合わせとともに解説を加える。</p>

etc...

《日本？スリランカ？》

- ① 下音更中学校の校舎。
- ② コロンボ市街。
- ③ ヌワラ・エリヤの茶畑。
- ④ コロンボの街を走るバス。
- ⑤ 線路上を歩く人々。
- ⑥ 農村の民家。
- ⑦ おびひろ動物園の象。
- ⑧ テレビ放送のドラえもん
- ⑨ スーパーの商品。
- ⑩ エレベーターのボタン。
- ⑪ ケンタッキーフライドチキン。
- ⑫ ボンカレー。

- ① 正解は日本
- ② 正解はスリランカ
- ③ 正解はスリランカ
- ④ 正解はスリランカ
- ⑤ 正解はスリランカ
- ⑥ 正解はスリランカ
- ⑦ 正解は日本
- ⑧ 正解はスリランカ
- ⑨ 正解はスリランカ
- ⑩ 正解はスリランカ
- ⑪ 正解はスリランカ
- ⑫ 正解は日本

何の画像なのか（何をしているところなのか）をグループごとに話し合ってみよう

グループで相談した後、グループの代表者が発表する



『花を売る少年』



『象のフン』



『結婚式に向かう二人』



『トイレの水くみ場』

etc...

動画やスライドを見て、日本と同じところや違うところについて、ワークシートにまとめてみよう

各自、ワークシートに記入する。

・スライドを見せながら、画像について質問する。

・ワークシートを回収する。

2 時間
目

【スリランカ人の思いやり・感謝について考える】

前回、自分がまとめたワークシートを見て、グループごとに気づいたことを交流してみよう

代表者が前で発表して、全体で共有する。

ジグソーパズルのように、分割された写真のピースを組み合わせて、写真を完成させよう

アルファベットごとに、指定された場所へ移動する。ピースの裏にアルファベットが書かれていない場合は、声をかけあって場所を見つける。

・前時のワークシートを各自に戻す。

- ・1人1ピース渡す。いくつかのピースの裏にはアルファベットが書かれており、同じアルファベットごとに写真が完成できるようになっている。
- ・先に、5～6の机のかたまりを作っておく。
- ・出席者で完成できるように、ピース

- ・左上の部分を持っている人はいる？
- ・子どもの顔が写っている部分を持っているよ

写真A



写真B



完成した写真は、何をしているところだろう

各グループごとに代表者が前で発表する。

写真A『道路脇の果物屋』

Q. 運転手のサマンは、マンゴーを食べたくて果物屋に寄りました。彼はこの後、買ったマンゴーをどうしたのでしょうか？

- ・みんなにあげた
- ・皮ごと全部食べた

正解：車内のみんなに分け与えた。

写真B『子どもにケーキを食べさせている大統領』

Q. 大統領は何をしているのでしょうか？また、それはなぜでしょうか？

- ・人気を得るために子どもにケーキをあげている
- ・子どもの誕生日だからケーキをあげている

正解：大統領の誕生日なのでケーキをあげている。

グループ対抗3択クイズ！

パワーポイントを見て、A・B・Cのうち、正解と
思う札をグループで相談して挙げる。

Q 1. バスの中で、お年寄りが立っていたら…

- A：国で高齢者専用バスを運行している。しかも、全席指定なので、お年寄りが立つことはない。
- B：お年寄りには必ず席を譲る。また、席に座っている人が、自分とは何の関わりもない人でも、立っている人の手荷物を持ってあげる。
- C：宗教上、若者優位の国なので、むしろお年寄りが若者に席を譲ってあげる。

Q 2. 約束の時間に遅刻してきたら…

- A：国民全員が規律正しい生活を送っているの、遅刻するなんてありえない。
- B：遅れるなんてとんでもない。学校や会社であれば、その場でムチ打ちをされる。
- C：反省している人に対して、その原因や責任を問い詰めたり、「あなたが悪い」と言ったりしない。事情があったことを察して、「あなたは悪くない。次は気をつけて。」と励ます。

Q 3. 物乞いを見かけたら…

- A：物乞い行為は犯罪。国の発展の妨げになるので、警察に通報する。




の数を調整する。写真Aと写真Bをもつ班が3班ずつつくれるようにする。

- ・写真Aと写真Bについてそれぞれ補足説明をする
- ・この時は、まだ正解は言わず、3択クイズの後で正解を発表する。

- ・‘思いやり’‘感謝’に関するエピソードをもとにした3択クイズを、パワーポイントで見せる。
- ・各グループに、A・B・Cの札を配っておく。
- ・スリランカの人々が、自分のことだけでなく‘他’を認めようとしていることに気づかせる。

Q 1 正解はB

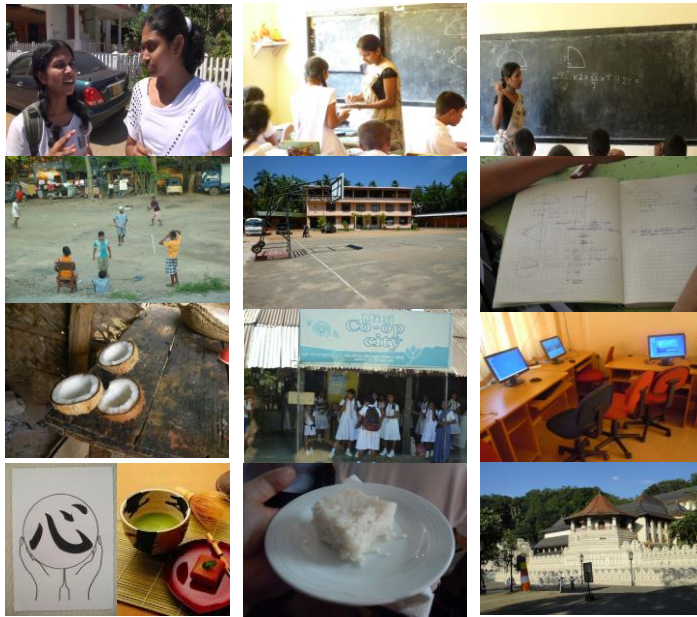
Q 2 正解はC

	<p>B：自分より貧しい人にお金をあげたり、ご飯をあげたりする。</p> <p>C：子どもであれば家に連れ帰り、養子として成人するまで育てる人が多い。</p> <p>Q 4. 乳が出なくなった牛は…</p> <p>A：生き物は殺したりいじめたりしない。牛は仏教徒は食べないので、屠殺場に連れて行かれる牛をみんなでお金を出し合って買い取り、道端に放す。</p> <p>B：すぐ食用にされる。</p> <p>C：一度飼ったら、同じ家で死ぬまで面倒を見るのが原則。</p> <p>Q 5. 親に叱られたら…</p> <p>A：口答えはしない。両親や先生は絶対的な存在。育ててくれている、教えてくれているという思いが強い。</p> <p>B：子どもは自分の意思を明確に伝え、納得いくまで親子で話し合う。</p> <p>C：「自分には自分の考えや人生がある！」と、家出する子が多いので、ストリートチルドレンが多くなってしまっているのが政府の悩みの種。</p> <p>Q 6. 法事や亡くなった親族の誕生日に…</p> <p>A：葬儀が終わった時点で、亡くなった人は仏様になったという扱いなので、自分の家でひっそりと手を合わせる。</p> <p>B：生前遺していった財産や遺品を国に納める。</p> <p>C：来客者にご飯をふるまう。あと、ご飯や日用品を持って、老人ホームや身寄りのない子どもが生活する施設を訪ねる。</p> <p>授業のふりかえりをワークシートに記入しよう</p> <p>各自、感じたことをワークシートに記入する。</p>	<p>Q 3 正解はB</p> <p>Q 4 正解はA</p> <ul style="list-style-type: none"> スリランカの人々が、日常の‘あたりまえ’に感謝しながら生活していることに気づかせる。 <p>Q 5 正解はA</p> <p>Q 6 正解はC</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ分けに使用した最初のフォトの説明をする。 <p>写真A→周りの皆で分け合う習慣がある。一人で食べるのは申し訳ないという思い。</p> <p>写真B→誕生日の人がケーキを持っていき、配る。自分が生まれてきて大きくなったことに対する感謝の気持ちを表す。</p>
<p>3 時間目</p>	<p>【スリランカの生徒の生活・考えを知り、自分を見つめる】</p> <p>4枚の写真から、一つのストーリーをつくってみよう</p> <p>グループごとに、何の写真なのかを考えながら、‘1日の流れ’をイメージして、1人称でストーリーを作り、ワークシートに記入する。それをグループ全員で前で発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	<ul style="list-style-type: none"> ワヤンバ・ロイヤル・カレッジの生徒が答えた内容に関する写真を使う。 4枚ずつの写真を用意する。同じ組み合わせの写真は2班ずつになるように配る。 フォトストーリーの手法を説明するとともに、例を示す。写真の説明は加えない。 写真の順番も自由であることを付け加えておく。

アヌラーダ

カウシャーリア

サチニ



3人の答えを予想するとともに、自分の一日の生活や考え方と比較してみよう

スリランカの生徒の一日の生活や考えと、自分自身のことについて、ワークシートに記入する。

- ・勉強ばかりしているのかな
- ・何をして遊んでいるんだろう



アヌラーダ



カウシャーリア



サチニ

自分の生活や考えと比べて感じたことをワークシートにまとめてみよう

各自、ワークシートに思ったことや感じたことを記入する。

- ・何人かにどのように予想したか、質問してみる。

- ・3人の実際の生活や考えを伝えるとともに、スリランカの生徒が描いた‘大切なもの’の絵を見せる。
- ・事前に日本の生徒に「大切なものは何か」「幸せを感じる時はどんな時か」というアンケートをとっていたので、その結果を公表する。

1 1. 評価方法

【関心・意欲】

- スリランカの人々の暮らしに関心をもつことができたか。《授業中の発言・ワークシート》

【技能】

- フォトランゲージなどで自分の考えを述べることができたか。《授業中の発言》

【知識・理解】

- スリランカと日本の同じところや違うところに気づき、他とのつながりを理解できたか。《ワークシート》

1 2. 苦労した点・改善点：

- 1時間目の内容が盛りだくさん過ぎて、時間が足りなかった。
- スライドの写真は、違いを見せたい写真なのか、同じを見せたい写真なのかを明確にして、厳選すべきであった。
- フォトストーリーを作ることは生徒にとって初めてのことであったので、もう少し具体的な例を示すことができればよかった。写真についても、生徒が感情移入しやすいものを選べばよかった。

- フォトランゲージの時に、発問の仕方にもう少し工夫があったらよかった。何の写真だったのかを口頭だけで説明するのではなく、種明かしの写真も用意していたらよかった。
- スリランカの人々の‘思いやり’‘感謝’に関するエピソードを伝えたくて3択問題という形にしたが、その問題を考えるのに苦労した。
- スリランカのモノを手にとって触れさせる時、時間の都合上そのまま回してしまったので、提示の仕方を工夫すればもう少し生徒の興味を惹きつけることができたのではと思った。
- 全体的についつい説明が多くなってしまったので、生徒の気づきを待つような授業展開を心がける必要がある。

1 3. 授業づくりのための参考資料・引用文献：

- スリランカで撮影した動画・画像
- 『わたしたちの地球と未来 スリランカ編』

1 4. 学びの軌跡（感想文、作文、ノートなど）

【スリランカの人について感じたこと】

- スリランカは日本より貧しい国だけど、その分思いやりがある国だと思った。
- みんな感謝の気持ちや思いやりの気持ちが強くてすごいと感じました。
- スリランカの人たちは、人や動物、物など全てのことを大切にしていると思った。
- スリランカの人たちは、優しく、楽しいことをみんなで分け合って、自分だけじゃなくてたくさんの人と一緒に喜びあったりできる人たちだと思った。
- 自分のことだけでなく、人とのつながりを大切にしていることがわかった。

【フォトストーリーをつくってみての感想】

- いろいろな写真で話を考えて楽しかった。
- みんなで協力してできたので良かったと思う。
- 同じ写真だった所ともストーリーが違った。他のグループのストーリーもおもしろかった。
- どういふ物語にするか、すごく難しく迷ったけど、結果的にできてよかった。
- 写真だけを見てストーリーを考えるのは難しかった。
- 想像力が必要だと思った。

【スリランカの生徒の生活・考えを自分と比べて感じたこと】

- 勉強が大切っていうのにはビックリ。少し見習わないといけないなと思いました。
- 遊びや夢は違うけど、大切なものはやっぱり同じなんだなと思った。
- どこの国でも家族は大切なんだなと思った。
- 向こうの人は夢にあふれていた。
- 自分はかなり自由に生活しているなって思った。もう少し我慢しようと思った。
- 叱られる時やほめられる時は日本と似ていた。
- スリランカの人はずごく将来の自分のことを考えているなあと思いました。
- 自分と違って、スリランカの人々はしっかりと自分の夢をもっていて、しかもその夢を叶えるための努力もして立派だと思った。

【3時間の授業をふりかえっての感想】

- スリランカの人々は貧しいけど、明るく元気に毎日を送っていると思った。
- 暮らしや食べ物・違うことばかりだけど、心は同じなんだなと思った。自分はスリランカの人ほど親を大切にできているのかなと疑問になった。
- 今まで知らなかったスリランカのことを知ることができて、スリランカに対する印象が変わった。どんな人に対しても優しいこととか、勉強をとて大切にすることがすごいと思いました。
- スリランカの学生は、将来への意識が高く、勉強をたくさんしていることがわかりました。僕も見習って将来のために勉強をしようと思いました。
- スリランカの文化を少しだが理解できた。向こうの人は厳しい環境に置かれながらも一生懸命生きているんだなと感じた。
- とても楽しい授業でした。スリランカの人々について学べてとても良かったです。この授業で学んだことは今の自分たちに必要なことだなと感じています。人を思いやる気持ち・親や先生への感謝の気持ち…今の自分たちはそれが薄れてきている気がします。
- スリランカの人たちは、自然・人・食べ物などすべてのものに感謝し、尊敬し、大切にしている。自分もそれを見習って、たとえ自分がどんな状況に置かれていてもその中の小さな幸せを見つけ、周りの人・食べ物などすべてに感謝できる人間になりたいと思った。
- 私は3時間の授業を受けて、とても自分のためになったと思いました。スリランカの人々を通して、勉強の大切さや周囲の人への気遣い・優しさなどを学び、その上文化の違いなども学びました。そのこと

で、勉強への意欲が湧き、また、周りの人のことをもっと考えて行動しなくてはと考えるようになりました。

15. 備考（授業者による自由記述）

授業のはじめに、「アーユボーワン」と互いにあいさつをさせたことにより、教室の雰囲気がほぐれたのでスムーズに授業を進めることができた。○×クイズや3択クイズを取り入れ、生徒の興味を惹きつけることができたのではないかと思う。また、フォトランゲージで使用する写真を分割してジグソーパズルのようにしたのだが、頭だけでなく手を動かす作業を入れたのは効果的であった。各班に分かれてのフォトストーリーの制作では、悩みながらも楽しそうに話し合っていたので、もう少し時間を確保してあげたら、より自由な発想を生み出させることができたのではないかと思う。

生徒の感想を読む限り、どの生徒もスリランカと日本の同じところや違うところに気づき、共感したり、見習うべき点を考えていた。物質的な豊かさはないが、精神的な豊かさのあるスリランカを通して、あらためて人とのつながりの大切さを再認識したのではないかと思う。

スリランカを知ろう!

組 番 名前

【スリランカ〇×クイズ】

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10

点

【どっちがスリランカ?どっちが日本?】

番号	写 真	どっち?	理 由
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	写 真	どっち？	理 由
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

日本と同じところや違うところをまとめてみよう！

スリランカの人について考えよう！

組 番 名前

Q. 大統領は何をしているのでしょうか？また、それはなぜでしょう？



今日の授業をふりかえって、感じたことを書こう。



スリランカの生徒になりきって、ストーリーをつくろう!

※写真を見ながら、この子が話している内容を書き入れましょう。

私の名前はアヌラーダ。私の一日は…

組 番 名前 _____



ストーリーをつくってみたいの感想

Large empty rounded rectangle for writing感想 (thoughts).



スリランカの生徒になりきって、ストーリーをつくろう!

※写真を見ながら、この子が話している内容を書き入れましょう。

私の名前はカウシャーリア。私の一日は…

組 番 名前 _____









ストーリーをつくってみたいの感想



スリランカの生徒になりきって、ストーリーをつくろう!

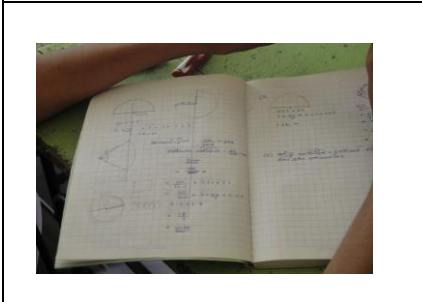
※写真を見ながら、この子が話している内容を書き入れましょう。

私の名前はサチニ。私の一日は…

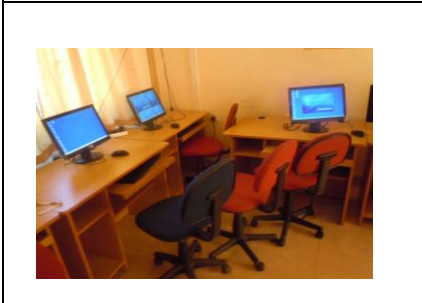
組 番 名前



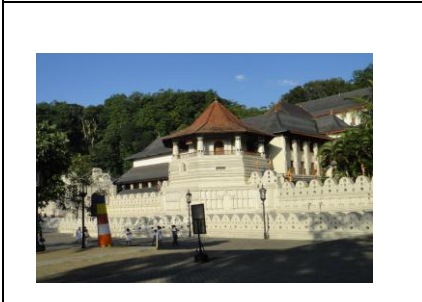
Blank writing area for the first photo.



Blank writing area for the second photo.



Blank writing area for the third photo.



Blank writing area for the fourth photo.

ストーリーをつくってみたいの感想

Large rounded rectangular box for writing感想 (thoughts).

スリランカの生徒の生活・考えを知ろう!

組 番 名前

彼女たちは何と答えたのだろうか?

	アヌラダ	カウシャーリア	サチニ	私
名 前				
朝起きた時間は?	8時	6時	【 】	【 】
好きな教科は?	【 】			【 】
なぜ勉強は大切?	【 】			【 】
友達の数?	【 】			【 】
家に帰って何をする?	【 】			【 】
好きな遊びは?	クリケット	【 】		【 】
どんな手伝いをする?	ココナッツ削り	料理・洗い物	寄宿舍なのでして いない	【 】
寝る時間は?	21時	22時	【 】	【 】
どんな時に叱られる?	【 】			【 】
どんな時にほめられる?	【 】			【 】
日本人のイメージは?	【 】			【 】
大切なものは?	【 】			【 】
あなたの夢は?	日本語や歴史の大学の先生になる	日本語か英語の先生になる	日本に行って、会社で働きたい	【 】

自分の生活・考えと比べて感じたことを書こう。